

広報常任委員会

どんなこと
やってるの?!

広報常任委員会は、「議会の情報をオープンにわかりやすく広報すること」であり、現在、議会だより「山郷」を年に4回発行し、町民のみなさんにお知らせをする仕事です。



【構成するメンバー】

- ▶左から
 矢野 修一 議員（副委員長）
 山口 純子 議員
 福山 美佳 議員
 伊藤 博長 議員（委員長）

議会だより「山郷」の
閲覧はこちらから↓



【今までの活動と今後の活動について】

新体制となり、議会だより「山郷」65号、66号、67号、68号、69号を発行しました。

委員会の仕事は、掲載する内容のネタ集めや「生の声を聴く」の取材、紙面の編集、印刷会社との調整などを行います。一つの号を発行するために、最低5回は委員会を開催しております。

内容は、議案審議、予算の状況、委員会報告、一般質問、生の声を聴くコーナーなどです。「生の声を聴く」コーナーでは、住民提案型事業などを活用したり、比較的新しい活動を行っているグループに焦点を当てております。

議会の広報という仕事は、「議会の情報をオープンにわかりやすく広報すること」だと思います。

現在、掲載内容が「議会の役割・機能がよく理解でき、興味・関心を引く内容か」、「読者を引きつけ、読みやすく、わかりやすいか」について、ネタ集めの工夫や企画力、他自治体の広報誌の調査・研究など、まだまだ努力が足りないと思っております。

また、情報発信の手段は、小冊子、ホームページ、最近ではスマートフォンの普及もあり、SNSでの情報発信が主流になってきております。

広報常任委員会も、小冊子の議会だより「山郷」だけではなく、ホームページとの連携など、時代に合った広報を考える必要があります。

例えば、紙面では文字数制限があり、限定的な広報になるので、議会だよりの一般質問のところにQRコードを張り、ホームページに飛び、一般質問をスマホの動画で閲覧できるようにする など。

しかしながら、実現するには「前例がないこと」や「予算が絡むこと」など、高いハードルがありますので、議員のみなさんのご理解を得ながら、先に進めていきます。また、議会情報のSNSでの発信の長所、短所、問題点、実現の可能性について調査研究を行い、こちらも先に進める努力をしていきます。

文教厚生常任委員会の出欠状況

2022年4月～2023年3月

開催日	伊藤博長	矢野修一	山口純子	福山美佳
2022年4月13日	水	○	○	○
2022年4月20日	水	○	○	○
2022年4月27日	水	○	欠	○
2022年6月8日	水	○	○	○
2022年6月10日	金	○	○	○
2022年6月30日	木	○	○	○
2022年7月5日	火	○	○	欠
2022年7月14日	木	○	欠	欠
2022年7月21日	木	○	○	欠
2022年8月2日	火	欠	○	○
2022年9月6日	火	○	○	欠
2022年9月22日	木	○	○	○
2022年10月11日	火	○	○	○
2022年10月18日	火	○	○	○
2022年10月20日	木	○	○	欠
2022年10月27日	木	○	○	○
2022年12月6日	火	○	○	○
2022年12月15日	木	○	○	○
2022年12月17日	土	○	○	○
2023年1月12日	木	○	○	○
2023年1月19日	木	○	○	○
2023年1月26日	木	○	欠	○
2023年2月15日	水	○	欠	欠
2023年3月7日	火	○	○	○
2023年3月23日	木	○	○	○
2023年3月26日	日	○	○	欠

・ 一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
 ・ 発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
 ・ 「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。6月議会分は9月に公開予定。



総務産業常任委員

境田敏高

総務省から総人件費削減、定員管理計画が推し進められた結果、1980年代の正職員は320万人から2020年には270万人余りと削減している。

近年では新型コロナ対応、自然災害、働き方改革への対応にと多大な時代に直面している。住民の福祉、暮らしを守り、ニーズが増え事務量も増えるなか職務に専念できるよう、職員の適正配置・管理は必要不可欠である。現状と対策を尋ねる。

(町長) 令和8年度までの目標職員数を110人と定めているが、本年4月1日時点での職員数は106人となっている。十分な職員配置が出来ていない部分もあるとは感じている。部署によっては、時間外が常態化しているところもあるが、住民対応は再任用職員や、会計年度任用職員で補うなど、住民サービスに支障が出ないように努めている。ただ本当に必要な時間外なのかということも見極める必要があるため、所属長には、聞き取り等を行い、働き方改革も進めている。また、心の問題は表面では分からないため、メンタルチェック等の結果を所属長に伝え、改善を図るように努めるとともに、必要であれば産業医等の面談も実施している。

境田 「職員適正配置・管理等の現状と対策は」 町長 「住民サービスに支障が出ないように努めている」

勤勉手当の支給を

自治体で働く会計年度任用職員のボーナスを拡充する改正地方自治法が今年の4月26日成立した。そこで2024年度から勤勉手当も支給できるようになった。支給するかどうかの判断は各自治体に委ねられているが、わが町も取り組むべきと思うが尋ねる。

(町長) 勤勉手当の支給に当たっては、支給率に関わるパートタイム会計年度任用職員に対する人事評価の仕組みについてもあわせて検討する必要がある。このようなことから、近隣市町等の動向も踏まえつつ、町としても支給するべきか検討していく。

不祥事根絶に向けた対策は

職員がおこした不祥事がネット、SNSで拡散しニュースになり町事態の社会的信用がガタ落ちになってしまう。コンプライアンス違反は民間なら会社そのものが存続するかを左右するほど大切なものである。

規律、法律をしっかりと守ることが出来ないことが、コンプライアンス違反であるが、「セクハラ」「パワハラ」などのハラスメントが行われない環境づくりの指導などもコンプライアンスのひとつである。

わが町も住民の信頼を裏切らないためにもコンプライアンスの取組は重要である。どのようになっているのか。

(町長) 令和3年9月に、南関町職員倫理規程を制定している。また、同年12月に、南関町職員コンプライアンス不祥事防止マニュアルを作成し、公務員としての倫理確立及び保持に関し必要な事項を定めることにより、公正に対する住民の疑惑や、不信を招くような行為の防止を規定している。

生成AI(人工知能)の取組は

対話型AI「チャットGPT」などの生成AIが社会に普及しつつあることを踏まえ、行政や教育機関がAIを使う際の活用法や規制の在り方について取組と対策について尋ねる。

(町長) 個人データの不適切な収集や著作権の無秩序な利用につながる恐れも指摘されている。業務効率化には繋がると思うがリスクも大きいことから、今の段階では導入計画はない。

ただ、近い将来必ず導入する時期は来るのではないかと考えている。今後は導入されている先進自治体の動向も踏まえ視察等も行いながら、慎重に検討していく必要がある。



『新規就農者に対し補助金の受給方法としての拡充』
『町の高度化事業についての現状』
『畑地において斜面の崩落・陥没・土砂流出等の補助』 について



広報常任副委員長
総務産業常任委員

矢野修一

南関町での、新規に農業を始める新規就農者は、少しずつではあるけど増えている。就農に対し国の補助金活用を町では、紹介し進めていると思うが、補助金の受給方法として相談者に合った国の補助金が準備されているが、いざ農業を始めるとすると、農業資材（肥料農薬・生産資材・農業機械はおおむね15%程度値上がりをし、特にハウス栽培に於いては、建設費（加湿器・ポーリング・被服資材など）を合計すると補助金だけでは十分と言えない。そこで、ハウス建設などの資金面で不足する費用を国の補助金とは別に、事業費の国補助金を差し引いた金額の30%程度を上限なしで補助して頂きたい。又、補助金を使用せず建設した農業者にも補助して頂きたい。

（町長） 今、昨年より、経営発展事業といまして、国県が75%、するような形で、そういった補助金制度も、国の方も考えられておりますので、町としても令和2年度からは、コロナ地方創生交付金を活用しながらいろいろな交付金、補助金を持って、しっかりと支援していく。



町の高度化事業についての現状を尋ねる。

（町長） 南関町産業経済費補助金交付規則に基づき、人・農地プランにより位置づけられた中心経営体の方々を対象に、農業用施設、農業機械・器具等、農業用運搬車両の導入整備並びに同リース利用、（パソコン購入等）に対し、補助率を対象事業費の10分の1以内から10分の3以内とし、限度額を5万円以内から40万円以内として補助金を交付している。

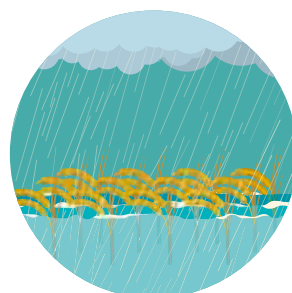
近年の状況としては、令和2年度より新型コロナウイルス感染症対応地方厚生臨時交付金及び町単独事業等を活用し、延べ100件を対象に24,399千円の補助金を交付している。

助成金額の総額及び上限を物価高騰等、厳しい経営の中、是非、増額してほしい。

（経済課長） 認定農業者、認定新規就農者、人・農地プランに位置づけられた、中心形態の方々に対し、上限40万の補助を致している。ただ集落営農組織というのが、各地区に立ち上がってきており、そこを今後はしっかりと捉えながら、町としても補助金の額の検討していかなければならないと考える。

災害復旧において、大雨等により災害が起きた場合、元通りにする為に水田では、激甚指定時の復旧、小規模の災害復旧時に補助金があり優遇されているが、畑地において斜面の崩落・陥没・土砂流出等の補助はないに等しいと思われる。農地ですので畑も水田同様の補助があってもいいと思うがどうなっているのか尋ねる。

（町長） 地震や梅雨前線豪雨などの異常な自然現象により発生した災害復旧においては、国の災害復旧事業を活用し対応している。また、この事業に採択できなかった箇所については、南関町土木費補助条例を平成29年9月に改訂し第2条第2項に農地の小災害復旧工事を追加し、工事費の1/2以内、上限を5万円まで補助する制度を設けている。なお、団体に対して補助がある事業がありますので、集落営農団体の創設を進めて頂きたい。





文教厚生常任副委員長
広報常任委員
議会運営委員

福山美佳

小学校数の適正化について

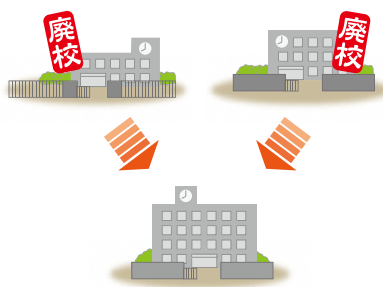
小学校数の適正化について

(町長) 令和5年度町政運営の施政方針の中で、「熊本県教育委員会が掲げる『夢への架け橋』教育プランに基づき、誰も取り残さない学びの保障として、小学校4校の将来統合の検討も含めて、小規模校のメリットでもある一人ひとりに寄り添った教育により、確かな学力の向上に努めます。」と説明した。

(教育長) 昨年(令和4年)度、町内の出生数が38人と、とても少ないことから、教育委員会の中で協議をはじめ、町議会に対して、「町の子供たちの教育環境を今後どのようにしていくのか、避けて通れない、検討すべき時が来た」と問題提起をした。12月議会では、福山美佳議員から「小学校数の適正化等について」の一般質問に対して、小学校の数は、学級を構成する人数により、メリットやデメリット等に違いがあるので、今後、議員の皆様方や町民の皆様のご意見等をお聞きしながら慎重に検討していく必要があるなどの答弁をした。

小学校数の適正化を検討するにあたり、検討委員会等の設置等、現在の状況について

(教育長) 子どもたちの教育環境の現状や今後の小学校教育の在り方等については、教育委員会だけではなく、全庁挙げて取り組む必要がある。本年1月から「町内学校教育環境検討委員会」を設置。庁内での情報共有を図るとともに、今後の取組の方向性等について協議を重ねている。



今後の適正化の進め方について

(教育長) 本年度の取組として、保護者をはじめ地域住民の皆様方に、教育環境の現状を広く周知していく。そのための校区别説明会を開催し、町の小学校の教育環境の現状と課題等の理解を図っていく予定。校区别説明会の後で、アンケート調査による保護者、地域住民の皆様方等の思いや考え等を把握していく予定。その対象は、児童生徒の保護者、保育園幼稚園の保護者、地域住民(抽出調査)の他、児童生徒や小中学校教職員等、分けての調査を考えている。アンケートは、これからの学校教育の方向性を踏まえ、様々な教育課題の解決に向けて、それぞれの世代の方の思いや考え、そして将来の子どもたちの教育環境の在り方として、

「現状維持」か「統廃合」の方向性が把握できる内容を検討している。

この調査は、将来にわたって質の高い教育の提供を維持するための参考とさせていただくもので、小学校の統廃合を前提に実施するものではない。予想されるメリット、デメリットの理解、周知も含め、将来の町の小学校教育の在り方の検討を、地域住民の皆様方のご理解やご協力をいただきながら慎重かつ丁寧に進めていきたい。

20年後の子どもの数について

(町長) 今のままいけば、減少は続くと思う。今年の4月1日段階で、一歳児38名だったのが44名になっている。全部の課でいろんなところを調べ直して、どこにチャンスがあるのか、皆さんが望んでいるのかを調べ、増やすことも考えながら進めていきたいと思う。

町民の皆様方の意見を集めることは重要なことだが、地域を活性化させ、住民の本来の未来の展望を示すことが政治の役目であり、行政の仕事ではないだろうか。それを放棄して、少子化だから、小学校数を検討するのは仕方ないでは、地域はますます疲弊してしまうのではないだろうか。



『人口減少を見据えた対策について』

南関町人口予測は、2040年が6,055人、2060年が3,794人であり、減少スピードは止まらない。人口減少社会を、どうデザインするかが問われている。5つの側面から質問した。(詳細は、町HP 議事録掲載)

女性の活躍できる場の創出

子育てをする母親への再就職支援を充実して成功している自治体がある。我が町の女性に特化した対策はあるか。

(町長) 女性に限定した取組については行っていない。求人情報は、防災無線放送や役場庁舎こもれびホールへの掲示、町ホームページへの掲載を行い働く場の周知をしている。

女性の労働力率、労働意欲、就労機会が増えている。一方通行の対応ではなく、求職から就業まで親身になって関わってくれる女性専門相談窓口は、近隣自治体にはない特色となる。

(町長) 企業誘致支援対策室の中で検討したい。



小・中学生への学習支援

地域未来塾は実態に合わせて、補助事業ではなく委託事業にすべきではないか。

(教育長) 文科省の事業は補助金しかない。

この地域未来塾を地域の皆さんを巻き込んでもっと厚くもっと広くするべき。そのためには、教委主体の運営に変えるか、現在の運営主体に委託事業として任せるか。教委の本気が問われている。

(町長) どの事業が町に一番合うのか。関係者の皆さんと話す機会ができればと思う。

移住者誘致対策

移住者誘致対象としてターゲットにしている世代はあるか。

(町長) 絞ってはいないが、子育てをしやすい町を目指して住んでよかったプロジェクトを進めているので若い世代が中心となる。

福岡県内から熊本県内への移住者は年間8000人。南関町は転職せずに通勤できる福岡県内の若い世代をターゲットにできる。実際の移住者の数字はどうか。転入の理由はわかるか。

(町長) 過去3年間56人のうち県内と大牟田市からが42人。転入の理由は把握できていない。



文教厚生常任委員長
議会運営委員

北原浩一郎

転入の理由はまちづくりのヒント。ガソリン代補助も考えていいのでは。

うから館の利活用

プロポーザルの募集が始まっている。業者選定のプロポーザルが7月14日、太田剛氏の講演会が7月下旬。太田氏のアイデアを盛り込むことはできるのか。

(町長) 現在のプロポーザルの内容の中に太田氏とのプロデュースは入っていない。もしもそういったいろんな情報交換をしながら太田氏の考えを含めていくということになれば、選定された業者と、町の三者で協議する必要があると思う。また、素晴らしいアイデアをお持ちであれば、実施設計の中にも、盛り込むことも可能だと考える。



なんかん響働隊

& 広報委員



議員 この会の目的は？

本会は、一小校区内の環境美化、環境保全に関する自主的な共同活動を行うことによって、人口減少の中でもいきいき元気な地域コミュニティの形成及び発展を図ることを目的とします。

議員 活動を始める動機は何でしたか？

人口減少の中、人が少なくなっても元気でいきいきした南関町でいて欲しいと思った時に、町民の皆さんがどれだけ地域のために働けるか、動けるか、そういう地域の力が大切だと思って思いました。

何かあると役場に言うという事になりますが、自分たちで解決できる事は自分たちで解決しようという風土ができればいいと思うし、そういうアクションを起こす団体の数とその町の元気のバロメーターになると思うので、一つ始めてみようかとなりました。



議員 活動の内容は？

まずは、目的に賛同した、ぎおんさん実行委員会と一小PTAの役員、地域の若者が集まり、昨年の11月に発足し、一小校区内を作業範囲として活動をしています。これまで通学路を主とした美化活動(除草やゴミ拾い)、運動会前の一小の草刈り作業への応援、役場健康推進課前の花壇の管理など、できるところから始めています。また、高速道路下の豊前街道を整備して歩けるようにし、一小の子どもたちと開通記念のウォーキング会をしました。(現在は歩けません。9月に再度整備作業の予定です。)



議員 活動の周期は？

無理のない中での活動が前提にあるので、日曜日の午前中の1時間程度の作業(月1回)と翌月曜日の18:30からの定例会議です。忙しい世代なので負担がない程度にゆるくしています。

議員 3月12日の豊前街道ウォークの企画の結果はどうでしたか？

ゴミ拾いしながら、小原から関外目の境界石まで歩きました。参加者30名程でした。

- 「こんな道知らなかった」と子供達が喜んでいました。
- 親子のコミュニケーションにも繋がったと思います。
- この活動により町がきれいになってよかった。特にタバコの吸い殻が多かった印象です。 など



議員

これから、「こんなこともしていきたい」という思いがあれば？

熊本県内の地域づくり団体の連絡協議会（火の国未来づくりネットワーク）に加入しました。勉強しながら成長していきたいです。また、地域のためにできる事の種類をもっと増やしていきたいので、そのためにも一緒にボランティアできる仲間を増やしていきたいです。

議員

R4年度の住民提案型事業を利用されたと思いますが、どうでしたか。

作業する用具や備品の購入などで利用し、助かりました。

議員

活動の中で、お困りごとはないですか？

個人会費と企業からの協賛金が活動資金となりますので、課題は、会員の獲得と企業からの協賛獲得です。事業所の皆さまよろしく申し上げます。

それと、子ども達を巻き込んだ活動を考えていますが、そのアイデアと智慧を持つ方の参画をお待ちしています。



 **なんかん響働隊**
LINE 公式アカウント



QRコードを読み込み「追加」ボタンを押してください。

なんかん響働隊公式SNS



Instagram



Twitter



facebook



南関町響働隊のみなさん

前列左から

竹元良治（関村）
古賀博一（関町）理事長
松原智浩（関町）副理事長

後列左から

井上魁人（関下）
笹原清憲（関下）
平山大介（豊永）
橋本靖代（関町）副理事長

写っていない会員

北原浩一郎（関町）
武田一徳（関町）
北原響友（関町）
田中亜矢（関外目）
江口靖志（関村）副理事長
松尾一司（関町）
真弓尚都（関外目）

随時 隊員募集中!

趣旨に賛同いただける方は、
どなたでもご連絡ください。

連絡は上記公式LINE、またはメール
「nankan.kyoudoutai@gmail.com」
までお願い致します。



少子高齢化の中、年齢を問わず地域の目的に向かっていきいき元気な地域コミュニティ



の形成及び発展を図る事こそ南関町の発展に必要です。

この活動が一小校区に留まらず全地域まで浸透していけば、もっと重要な困り事にも取り組んでいけると思います。行政だけでなく我々も町民として、そして議員として併せて応援していきます。

広報常任委員会

南関中3年 おお いし りゅう と 大石 琉斗 さん

私が考える、南関町の未来



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

僕が考える南関町の未来は、町民の意見が反映され、みんなが幸せに暮らしていける未来です。先日、租税教室で税金の集められ方や、使われ方を学びました。税金の使い道を決めてくれるのは選挙で選ばれた国会議員や都道府県等の議会議員の方です。僕は選挙に行き、そこで自分たちの考えを反映してくれる人を選ぶことが大切だと思いました。人類は、文明が誕生してからこれまで、民衆の力で国を動かしてきました。この歴史に学び、選挙に行くことでよりよい町を作る一歩になると考えます。18歳になったら、南関町に住み、町のみんなが幸せに暮らしていけるような町づくりをしてくれる人に選挙で投票しようと思います。また、自分自身もボランティアなど、町のためになることを自分から行いたいです。南関町は、どんな人でも安心して生活できるような町になってほしいと思っています。

議会傍聴しませんか

6月定例議会の傍聴人数はのべ4人でした。

6日：4人、7日：0人、9日：0人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員 30人

議会日誌

■4月

- 4月13日(木) 広報常任委員会
- 4月14日(金) 文教厚生常任委員会
- 4月18日(火) 総務産業常任委員会
- 4月20日(木) 全員協議会
広報常任委員会
- 4月27日(木) 広報常任委員会

■5月

- 5月11日(木) 文教厚生常任委員会
- 5月16日(火) 総務産業常任委員会
- 5月19日(金) 全員協議会
- 5月26日(金) 議会運営委員会

■6月

- 6月6日(火) 第3回定例会
- 6月7日(水) 全員協議会
総務産業常任委員会
文教厚生常任委員会
広報常任委員会
- 6月9日(金) 第3回定例会
- 6月22日(木) 広報常任委員会
- 6月26日(月) 広報常任委員会

テーブルイク



40歳以降の人生は「血管力」で決まる？

血管は、年齢を重ねるごとに厚く硬くなり、血液が流れにくい状態になっていきます。しかし自覚症状がないため、いつのまにか老化し、血管が詰まるなどの、血管事故につながることもあり、特に仕事や家庭で多忙を極める40歳前後は、血管の健康を維持できるかどうかのポイントとなります。

血管の老化を防ぐために大切なのが、しなやかさを保ち血液をスムーズに流せる力、「血管力」。健康やかな毎日や見た目の若々しさにも直結する「血管力」は、何歳からでもすぐに高められるそうです。

ご自身の健康には油断しない気配りで、明るく元気におすごしください。
(矢野修一)



□ 発行責任者

議長 立山 秀喜

□ 編集(広報常任委員会)

委員長 伊藤 博長
委員 山口 純子

副委員長 矢野 修一

委員 福山 美佳